



快適な生活を実現する電気のすべてを学ぶ電気科

現代社会において、「電気」の担う役割は多く、幅広い分野で「電気技術者」が必要とされています。なにか仕事をするときや、製品を作ったりものを動かしたりするときなど、電気の知識や技術を使うからです。電気科は、高い電圧から低い電圧まで幅広く学習し、実践的な技術を身につけます。また、電気を作って利用する事（発電、送配電）や、コンピュータや計測及び機械制御の分野を学びます。**電気の作り方、送り方、使い方や電気工事、制御に興味があり、将来この分野で貢献したい生徒、資格取得やものづくりに継続的に学習に取り組む意欲のある生徒は、ぜひ電気科への進学を考えてみてください。**

電気科に進学するメリット

- (1)多くの実用的な資格を取得でき、進路実現出来ます。主な資格としては、第3種電気主任技術者、第1種電気工事士、第2種電気工事士（取得率9割以上）です。電気工事の仕事は、工事士の資格を取得しないと出来ません。その他、工事担任者、危険物取扱者（乙種4類など）、品質管理検定（QC検定）などの資格を取得しています。
- (2)ものづくりの技術者を育成します。実習や課題研究の授業があり、ものづくりの学習をします。電気科では、高校生ものづくりコンテスト電気工事部門に参加をしていて、平成22年度に全国優勝を果たしています。
- (3)電気主任技術者資格認定校になっており、必要な単位を修得すれば、卒業後に資格の免除や取得が可能です。具体的には、第2種電気工事士の「筆記試験」が免除、工事担任者の「電気通信の基礎」が免除、第3種電気主任技術者は実務経験で取得可能です。



中電日野変電所見学の様子



電気工事士補習の様子

電気科の進路の特徴

- (1)県内外ともに、資格を取得している電気科の生徒を希望する企業が多いので、電気科は就職者の割合が他の科より多いのが特徴です。就職が8割で進学が2割です。
- (2)電力系の会社やJR系の会社に就職する生徒が多い。電力系の会社は、中国電力、中国電気保安協会、電力サポート中国など。JR系の会社は、JR西日本、西日本電気システム、西日本電気テックなどです。

課題研究の様子



テクノボランティア



全国高等学校ロボット競技大会

ものづくり大会の様子（電気工事部門）



ものづくりコンテスト鳥取県大会